

# 立茎後（春先～梅雨）の灰色カビ対策

《灰色カビはどんな時に増える》「気温20℃前後 湿度80～90%を好む」

- カビの一種であり糸状菌で風飛で感染します。
- 低温多湿を好み、春先～梅雨・秋口～初冬に増加する傾向です。
- アスパラの場合には花弁や摘芯部位に見えます。

## 《対策》

- 立茎後の多雨時は施設内の温度・湿度管理を的確に行います。
- 多雨で湿度が高くなった場合には、シリカ水1000倍の葉面散布で花弁落ちを良くします。
- 摘芯後直後には摘芯部に斑点の薬散とシリカ水を散布します。

アスパラガスの茎葉硬化対策

植物のサプリメント

シリカ水

アグリ技研株式会社

